

お知らせ

いのち 第2回生命を見つめるフォト&エッセー 作品募集

<概要>

① フォト部門

生命の尊さ、大切さを感じさせる写真を募集します。人間、動物、自然など被写体は自由です。

② エッセー部門

病気やけがをした時の思い出、介護や生命の誕生にまつわる話、医師や看護師、患者との交流など、医療や介護に関するエピソード、お世話になった医師や看護師ら宛てに送ったという想定「感謝の手紙」などを募集します。

<応募要項ほか>

詳細は、コンテスト公式ホームページ (<http://inochi-photo-essay.com>) をご参照ください。

※医師および医療従事者も応募可能です。

<締め切り> 2018年10月4日(木)(必着)

<作品送付先・お問い合わせ先>

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1

読売新聞東京本社 事業開発部「いのち生命を見つめるフォト&エッセー」係

TEL: 03-3216-8606 (平日午前10時~午後5時)

主催: 日本医師会、読売新聞社 後援: 厚生労働省

北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。是非ともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

投稿要領

1. 原稿の締切

毎月10日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。

できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。

2. 原稿の体裁と字数制限

- (1) 原則として横書きといたします。
- (2) 引用文以外は、すべて当用漢字、現代かなづかいを使用してください。
- (3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。
- (4) 1回の掲載紙面は、原則として2頁、「**会員のひろば**」は1頁を限度とします。

医報1頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。

- (5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。

3. 原稿の訂正、返却

次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。

- (1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容
- (2) 匿名の投稿
- (3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの(二重投稿)
ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない
- (4) その他掲載に支障がある内容

4. ホームページへの掲載

特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先: 北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661 FAX 011-241-3090
E-mail: ihou@m.doui.jp